

1 学校経営の概要

1 学校経営にあたって

(1) 学校の歩みと特徴

本校は、明治7年（1874年）に開校し、今年度152周年の節目を迎える。西目町の行政は「教育尊重」「教育優先」の施策を推進し、地域内には、こども園、小学校、中学校高等学校が設置されている。平成17年に1市7町が合併し由利本荘市になってもその思いは受け継がれ、先人のその思いの下、本校の玄関前の石碑には「啓發智能」と刻まれ、現在でも1園3校の連携が図られている。

校舎は平成20年に改築され、木材をふんだんに使用した温かみのある近代的な造りで、各学年の教室には多目的スペース、ステージ風の中央階段と玄関ホール等、特色あるスペースが整備された。校地内には小川が流れる「親水公園」や芝生が広々と植えられた前庭があり、公園の中にあるような内外とも素晴らしい環境の学校である。

(2) 地域と子どもの実態

校区である西目町は、地域の東方と南方は鳥海山麓の由利原高原に囲まれた東西6km、南北14kmの田園地帯にある自然豊かな地域であり、東北初の土地改良事業で建設された水力発電所や複数の風力発電所が建設稼働している。先進技術を導入した電子部品関連を中心とした製造業や、果樹のわい化栽培やバイオ技術を取り入れたキノコ栽培等の複合農業経営等、他市町村に先駆けた長期的で総合的な視点に立った産業の推進に取り組んでいる。

地域の方々は、先人の開拓精神を引き継ぎ、郷土愛にあふれ教育に対する関心や意識も高く、保護者と共に教育活動に対する協力や支援に積極的である。

子どもたちは、家庭や地域に温かく見守られ、素直で反応がよく真面目に行動することができる子どもが多い。県学習状況調査質問紙の項目「自分にはよいところがあると思う」等で県平均を上回り、自己肯定感の高い子どもが多いことも分かった。一方、諸調査の結果から、言葉で表現する力や試行錯誤しながら考えを導き出すことが課題として挙げられた。昨年度末、教職員に実施した「令和8年度学校教育目標に向けたアンケート」では、心のたくましさや考えを伝える力、他者への寛容さ等が課題だという意見が多く出た。また今年度、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもが増加している。

(3) 本年度の経営に当たって

実態を踏まえ、子どもたちには、自分に自信をもち、苦手なことにも進んで挑戦して自分の成長を実感できる子どもに育ててほしいと考える。そこで本年度は「主体性の育成」をキーワードに、教職員が一丸となって子どもの成長を支援する。そのために、これまで積み重ねてきた、ふるさとを学びのフィールドとした「人・もの・こと」の視点から、見いだした課題や問題に他と関わり合い、主体的に解決していこうとする子どもの育成を図る。特に、昨年度の授業研究や児童会活動等の成果を生かし、子どもの願いや思いを大切にして学校経営に当たる。そして、組織力の向上にも努める。本年度、2名の養護教諭と2名の初任者が配属となった。また、実態を考慮し、生徒指導主事を学級担任と兼務しないこととした。そこで、異なる職種や年代の教職員の様々な考えを学校運営に反映できるように、学年部や指導部等の組織での取組を重視し、「チーム西目」として学習指導と生徒指導の充実を図り、子どもの成長へつなげる。このように、子どもを主体とした教育活動と教職員の学校経営への参画意識を高めることで、本県教育が目指す「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を基調とした、これからの時代に求められる資質・能力を育んでいきたい。

2 学校教育目標と目指す姿

ふるさとに学び、主体的にたくましく生きる子どもの育成

- (1) 目指す子どもの姿 ～夢にときめけ、明日にきらめけ～
 - 目標や夢に向かい、意欲をもって取り組もうとする子ども (学びに向かう力、人間性等)
 - 学校や地域への愛着を感じ、人、もの、ことと関わり、高まろうとする子ども (生きて働く知識及び技能)
 - 思いや考えを伝え合って、より深く学ぼうとする子ども (思考力、判断力、表現力等)
- (2) 目指す学校の姿 ～地域と共に～
 - 子ども一人一人の個性を大切にし、「学力の保障」「成長の保障」に努める学校
 - 保護者や地域の思いや願いに傾聴し、共に子どもを育てようとする学校
 - 子どもが生き生きと活動し、地域を明るくする学校
- (3) 目指す教師の姿 ～改善、改革、挑戦で「参画」～
 - E S D、ふるさと教育、キャリア教育の視点をもって取り組む教師
 - それぞれの持ち味を生かして互いに高まる教師
 - 子ども、保護者、地域、同僚から信頼される教師

3 経営の重点と主な施策

- (1) 確かな学力と高い志を育てる教育の充実
 - ①重点とする資質・能力を育む生活科と総合的学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメント
 - ②各教科等の見方・考え方を働かせる子どもの姿をイメージした授業づくりと授業評価
 - ③ユニバーサルデザインの視点による授業づくり
 - ④ICTを活用した教育の推進
 - ⑤学びの土台となる活動の重視
 - ⑥学びの土台づくりに向けたN I E学習の推進
- (2) 心と体を育み自立を支える教育の充実
 - ①生き抜くたくましさと郷土愛につながるふるさと教育、キャリア教育、道徳教育の推進
 - ②自己指導能力の獲得に向けた、生徒指導の実践上の視点を意識した教育活動の展開
 - ③「挑戦」「主体性」「協働」のもと、生活の様々な課題へ自主的・実践的に取り組む特別活動の充実
 - ④よりよい人間関係を築く縦割り活動の充実と園・小・中の連携
 - ⑤安全教育、健康教育(体力の向上や食育の推進)の充実
- (3) 地域と共に取り組む多様な教育の展開
 - ①地域・関係機関等と連携した教育活動の推進
 - ②学校運営協議会等の組織を積極的に活用した「地域の学校」の運営
 - ③学校便り、HPによる学校情報の公開
- (4) 協働と学び合いによる組織力の向上に向けた研修の充実
 - ①初任者研修、人事評価システム等を活用した組織の活性化と資質能力の向上
 - ②チームで取り組む生徒指導と特別支援教育推進に向けた体制づくり